

注3

大学番号：私立212

[令和2年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

京都先端科学大学大学院
工学研究科 機械電気システム工学専攻
博士課程前期・博士課程後期

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人永守学園
令和2年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人永森学園

(2) 大学名

京都先端科学大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒615-8577

京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガモリ シゲノブ) 永守 重信 (平成30年3月)		
学長	(マエダ マサフミ) 前田 正史 (平成31年4月)		
研究科長	(タバタ オサム) 田畑 修 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 機械電気システム工学専攻 (博士課程前期) 修士(工学)	工学関係	2年	15人	- 年次人	30人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	15人 (-) [-]	—人	0.33倍	- 倍	
志願者数	6 (-) [-]	() []			
受験者数	6 (-) [-]	() []			
合格者数	5 (-) [-]	() []			
B 入学者数	5 (-) [-]	() []			
入学定員超過率 B/A	0.33				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度 令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	5 [-] (-)	[] ()	
2年次	/		
計	5 [-] (-)		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	5 人	0 人	令和2年度	人	人	
合計		0 人				

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 機械電気システム工学専攻 (博士課程後期) 博士(工学)	工学関係	3年	2人	-年次人	6人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	令和2年度	春季入学			
A 入学定員	2人	-人	0.50倍	-倍	
	(-)	[-]			
志願者数	1	()			
	(-)	[]			
	[-]	[]			
受験者数	1	()			
	(-)	[]			
	[-]	[]			
合格者数	1	()			
	(-)	[]			
	[-]	[]			
B 入学者数	1	()			
	(-)	[]			
	[-]	[]			
入学定員超過率 B/A	0.50				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度 令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	1 [-] (-)	[] ()	
2年次	/		
3年次	/		
計	1 [-] (-)		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数	
				うち留学生数	
令和2年度	1 人	0 人	令和2年度	人	人
合 計		0 人			

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 機械電気システム工学専攻 博士課程前期>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基幹科目	先端機械電気システム工学通論 ^{1前・後}	2			1						
		大学院エンジニアのためのコンピュータ概論 ^{1前}		2			1					
		エレクトロニクス材料の物理と化学 ^{1前}		2			1					
		ロボティクス特論 ^{1前}		2					1			
		MEMS技術と材料 ^{1後}		2			2					
	風力発電テクノロジー ^{1後}		2					1				
	発展科目	システム設計論 ^{2前}		2			1					
		計算材料科学特論 ^{2前}		2			1	2				
		半導体電力変換技術 ^{2前}		2			1	1				
		スクリプト言語と仮想マシン ^{2後}		2			1					
リモートセンシング ^{2後}			2			1		1				
半導体パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計 ^{2後}		2			1							
小計(12科目)	-	2	22	0	9	4	3	0	0	0	0	
科学技術英語	科学技術英語Ⅰ ^{1前}		2								1	
	科学技術英語Ⅱ ^{1後}		2								1	
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
研究分野関係科目	特別演習	博士課程前期特別演習Ⅰ ^{1前}		2			10	4	5			
		博士課程前期特別演習Ⅱ ^{1後}		2			10	4	5			
		博士課程前期特別演習Ⅲ ^{2前}		2			10	4	5			
		博士課程前期特別演習Ⅳ ^{2後}		2			10	4	5			
	特別研究	博士課程前期特別研究Ⅰ ^{1前}		2			10	4	5			
		博士課程前期特別研究Ⅱ ^{1後}		2			10	4	5			
		博士課程前期特別研究Ⅲ ^{2前}		2			10	4	5			
		博士課程前期特別研究Ⅳ ^{2後}		2			10	4	5			
	小計(8科目)	-	16	0	0	10	4	5	0	0	0	
	合計(22科目)	-	22	22	0	10	4	5	0	0	1	
卒業要件及び履修方法												
修了要件 本博士課程前期に2年以上在学し、所定の授業科目について34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。												
履修方法 修了要件34単位の内訳 特別演習・特別研究の必修科目16単位 科学技術英語の必修科目4単位 専門科目の基幹科目6科目より4科目(8単位)以上を選択必修とする。 専門科目の発展科目6科目より3科目(6単位)以上を修得する。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	基幹科目	先端機械電気システム工学通論 ^{1前・後}	2			1					
		大学院エンジニアのためのコンピュータ概論 ^{1前}		2			1				
		エレクトロニクス材料の物理と化学 ^{1前}		2			1	2			
		ロボティクス特論 ^{1前}		2					1		
		MEMS技術と材料 ^{1後}		2			2				
	風力発電テクノロジー ^{1後}		2					1			
	発展科目	システム設計論 ^{2前}		2			1				
		計算材料科学特論 ^{2前}		2			1	2			
		半導体電力変換技術 ^{2前}		2			1	1			
		スクリプト言語と仮想マシン ^{2後}		2			1				
リモートセンシング ^{2後}			2			1		1			
半導体パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計 ^{2後}		2			1						
小計(12科目)	-	2	22	0	9	4	3	0	0	0	
科学技術英語	科学技術英語Ⅰ ^{1前}		2								1
	科学技術英語Ⅱ ^{1後}		2								1
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	1
研究分野関係科目	特別演習	博士課程前期特別演習Ⅰ ^{1前}		2			10	4	5		
		博士課程前期特別演習Ⅱ ^{1後}		2			10	4	5		
		博士課程前期特別演習Ⅲ ^{2前}		2			10	4	5		
		博士課程前期特別演習Ⅳ ^{2後}		2			10	4	5		
	特別研究	博士課程前期特別研究Ⅰ ^{1前}		2			10	4	5		
		博士課程前期特別研究Ⅱ ^{1後}		2			10	4	5		
		博士課程前期特別研究Ⅲ ^{2前}		2			10	4	5		
		博士課程前期特別研究Ⅳ ^{2後}		2			10	4	5		
	小計(8科目)	-	16	0	0	10	4	5	0	0	0
	合計(22科目)	-	22	22	0	10	4	5	0	0	1
卒業要件及び履修方法											
修了要件 本博士課程前期に2年以上在学し、所定の授業科目について34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修方法 修了要件34単位の内訳 特別演習・特別研究の必修科目16単位 科学技術英語の必修科目4単位 専門科目の基幹科目6科目より4科目(8単位)以上を選択必修とする。 専門科目の発展科目6科目より3科目(6単位)以上を修得する。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	11 科目	0 科目	22 科目	11 科目 [0]	11 科目 [0]	0 科目 [0]	22 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

該当なし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学研究科 機械電気システム工学専攻 博士課程後期>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	材料	エレクトロニクス材料の物理と化学	1前	2		1	2					
		計算材料科学特論	1前	2		1	2					
		MEMS技術と材料	1後	2		2						
	エネルギー	MEMS技術と材料	2前	2		1						
		半導体電力変換技術	1前	2		1	1					
		風力発電テクノロジー	1後	2				1				
	情報	半導体パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計	1後	2		1						
		機械電気システム工学特論(エネルギー)	2前	2			1					
		大学院エンジニアのためのコンピュータ数学	1前	2		1						
	システム	スク립ト言語と仮想マシン	1後	2		1						
		システム設計論	2後	2		1						
		ロボティクス特論	1前	2		1		1				
	科学技術	リモートセンシング	1前	2		1						
		ロボティクス特論	1前	2		1						
		リモートセンシング	1後	2		1						
特別演習	機械電気システム工学特論(システム)	2後	2		1							
	小計(15科目)	-	8	22	0	9	4	2	0	0	0	
	科学技術英語 I	2前	2								1	
特別研究	科学技術英語 II	3前	2								1	
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
	博士課程後期特別演習 I	1前	2		10	4	3					
特別研究	博士課程後期特別演習 II	1後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 III	2前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 IV	2後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 V	3前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 VI	3後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 I	1前	2		10	4	3					
特別研究	博士課程後期特別研究 II	1後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 III	2前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 IV	2後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 V	3前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 VI	3後	2		10	4	3					
	小計(12科目)	-	24	0	0	10	4	3	0	0	0	
合計(29科目)			-	36	22	0	10	4	3	0	0	1
卒業要件及び履修方法												
<p>修了要件 本博士課程後期に3年以上在学し、所定の授業科目について36単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法 修了要件 36単位の内訳 専門科目より 必修を含め8単位以上 科学技術英語 必修 4単位 特別演習 必修 12単位 特別研究 必修 12単位 合計 36単位以上</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	材料	エレクトロニクス材料の物理と化学	1前	2		1	2					
		計算材料科学特論	1前	2		1	2					
		MEMS技術と材料	1後	2		2						
	エネルギー	MEMS技術と材料	2前	2		1						
		半導体電力変換技術	1前	2		1	1					
		風力発電テクノロジー	1後	2				1				
	情報	半導体パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計	1後	2		1						
		機械電気システム工学特論(エネルギー)	2前	2			1					
		大学院エンジニアのためのコンピュータ数学	1前	2		1						
	システム	スク립ト言語と仮想マシン	1後	2		1						
		システム設計論	2後	2		1						
		ロボティクス特論	1前	2		1		1				
	科学技術	ロボティクス特論	1前	2		1						
		リモートセンシング	1後	2		1						
		リモートセンシング	1後	2		1						
特別演習	機械電気システム工学特論(システム)	2後	2		1							
	小計(15科目)	-	8	22	0	9	4	2	0	0	0	
	科学技術英語 I	2前	2								1	
特別研究	科学技術英語 II	3前	2								1	
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
	博士課程後期特別演習 I	1前	2		10	4	3					
特別研究	博士課程後期特別演習 II	1後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 III	2前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 IV	2後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 V	3前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別演習 VI	3後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 I	1前	2		10	4	3					
特別研究	博士課程後期特別研究 II	1後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 III	2前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 IV	2後	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 V	3前	2		10	4	3					
	博士課程後期特別研究 VI	3後	2		10	4	3					
	小計(12科目)	-	24	0	0	10	4	3	0	0	0	
合計(29科目)			-	36	22	0	10	4	3	0	0	1
卒業要件及び履修方法												
<p>修了要件 本博士課程後期に3年以上在学し、所定の授業科目について36単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法 修了要件 36単位の内訳 専門科目より 必修を含め8単位以上 科学技術英語 必修 4単位 特別演習 必修 12単位 特別研究 必修 12単位 合計 36単位以上</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	11 科目	0 科目	29 科目	18 科目 [0]	11 科目 [0]	0 科目 [0]	29 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

該当なし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	109,617.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	109,617.09㎡	大学全体			
	運動場用地	82,766.89㎡	0 ㎡	0 ㎡	82,766.89㎡	借地面積<太秦>			
	小 計	192,383.98㎡	0 ㎡	0 ㎡	192,383.98㎡	32,571.91㎡			
	そ の 他	75,370.94㎡	0 ㎡	0 ㎡	75,370.94㎡	借用期間:60年			
	合 計	267,754.92㎡	0 ㎡	0 ㎡	267,754.92㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		106,836.16㎡ (106,836.16㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	106,836.16㎡ (106,836.16㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		95室	37室	73室	14室 (補助職員 4人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		工学研究科			25 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む図書 41,965冊 〔4,195冊〕	
	工学研究科 機械電気システム工学専攻	4,919 [4,075] (2,047 [1,785])	3 [0] (3 [0])	3 [2] (3 [2])	0	12264 (12,233)	— (—)		
	計	4,919 [4,075] (2,047 [1,785])	3 [0] (3 [0])	3 [2] (3 [2])	0	12,264 (12,233)	— (—)		
								学術雑誌は、学部と共用	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		5185.89㎡		975席 970席		483,840冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		5046.41㎡		野球場1面、テニスコート6面、弓道場1施設、アーチェリー場1施設					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・教員一人当たりの研究費等、共同研究費等は、研究科単位では算出不能のため、学部と合計
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	2000千円	5,672千円	図書購入費	22,938千円	17,488千円	— 千円	
	共 同 研 究 費 等	1000千円	300千円	設備購入費	61,550千円 63,027千円	6,595千円 5,982千円	— 千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	・図書費には、データベースの整備費を含む。 ・業者からの価格再提示等による金額変更(2)	
		1,200千円	1,000千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	京 都 先 端 科 学 大 学								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
工学部						0.61				
機械電機システム工学科	4	200	-	200	学士 (工学)	0.61		令和2年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
経済経営学部						1.08				
経済学科	4	170	-	660	学士 (経済学)	1.07		平成27年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	経済学科、経営学科 入学定員 平27～29 150 平30～ 170
経営学科	4	170	-	660	学士 (経営学)	1.10		平成27年度		
人文学部						1.05				
心理学科	4	80	-	320	学士 (人文)	1.00		平成27年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
歴史文化学科	4	90	-	360	学士 (人文)	1.09		平成27年度		
バイオ環境学部						0.79				
バイオサイエンス学科	4	65	-	285	学士 (バイオ環境)	0.82		平成18年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1	バイオサイエンス学科入学定員 平27～29 90 平30 65
バイオ環境デザイン学科	4	55	-	225	学士 (バイオ環境)	0.88		平成18年度		バイオ環境デザイン学科入学定員 平27～29 60 平30 55
食農学科	4	70	-	290	学士 (バイオ環境)	0.69		平成27年度		食農学科入学定員 平27～29 80 平30 70
健康医療学部						1.03				
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.00		平成27年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
言語聴覚学科	4	30	-	120	学士 (言語聴覚学)	0.89		平成27年度		
健康スポーツ学科	4	90	-	360	学士 (健康スポーツ学)	1.10		平成27年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1	
経済学部										
経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		昭和44年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1	平成27年度より 学生募集停止
経営学部										
経営学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-		平成3年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1	平成27年度より 学生募集停止
事業構想学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-		平成14年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1	平成27年度より 学生募集停止
人間文化学部										
心理学科	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-		平成20年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1	平成27年度より 学生募集停止
メディア社会学科	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-		平成20年度		平成27年度より 学生募集停止
歴史民俗・日本語 日本文化学科	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-		平成20年度		平成27年度より 学生募集停止
歴史民俗学専攻	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-		平成20年度		平成27年度より 学生募集停止
日本語日本文化専攻	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-		平成21年度		平成27年度より 学生募集停止

大学の名称	京都先端科学大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
工学研究科										
機械電気システム工 学専攻	2	15	—	15	修士 (工学)	0.33		令和2年度	京都府京都市右京区山 ノ内五反田町18番地	
機械電気システム工 学専攻	3	2	—	2	博士 (工学)	0.50		令和2年度		
経済学研究科										
経済学専攻	2	5	—	10	修士 (経済学)	1.20		平成7年度	京都府京都市右京区山ノ内五 反田町18番地	
経営学研究科										
経営学専攻	2	5	—	10	修士 (経営学)	0.20		平成7年度	京都府京都市右京区山ノ内五 反田町18番地	
人間文化研究科										
人間文化専攻	2	10	—	20	修士 (文化研究) 修士 (社会情報) 修士 (心理学)	0.45		平成14年度	京都府京都市右京区山ノ内五 反田町18番地	
バイオ環境研究科										
博士課程前期 バイオ環境専攻	2	20	—	40	修士 (N^+ 付環境)	0.12		平成22年度	京都府亀岡市曾我部町南条大 谷1番地1	
博士課程後期 バイオ環境専攻	3	3	—	9	博士 (N^+ 付環境)	0.00		平成22年度	京都府亀岡市曾我部町南条大 谷1番地1	

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和元年)	該当なし。		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 機械電機システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>①新型コロナウイルス感染症の感染防止に対応した授業の実施 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、2020年度春学期の授業開始（4月6日）より、受講者に対して100名用講義室で、窓・ドア開放、講師・受講者マスク着用による密集を避ける形で学生同士距離を確保して対面授業を実施した。その後、全国で緊急事態宣言が発出され、特に京都府は「特定警戒都道府県」にも指定されたため、Teamsを使ったリアルタイム双方向（画像+音声+テキスト）のオンライン授業に切り替えて授業を実施中である。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>2013年10月に教育開発センターが設置され、教育開発センター長の下にFSD推進委員会を設置している。</p> <p>なお、2016年8月1日の教育開発センター規程改正により、委員会名称を「FD・SD推進委員会」に変更、2020年4月1日の教育開発センター規程改正により、FD・SD活動は教育開発センター委員会が担当している。（別紙①）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>2014年度 FSD推進委員会10回開催 (2014.4.23, 2014.5.14, 2014.6.11, 2014.7.9, 2014.10.8, 2014.11.12, 2014.12.10, 2015.1.14, 2015.2.18, 2015.3.11)</p> <p>2015年度 FSD推進委員会9回開催 (2015.4.8, 2015.5.13, 2015.6.10, 2015.7.8, 2015.10.7, 2015.11.4, 2015.12.9, 2016.2.10, 2016.3.9)</p> <p>2016年度 FD・SD推進委員会10回開催 (2016.4.13, 2016.5.11, 2016.6.8, 2016.7.13, 2016.9.7, 2016.10.12, 2016.11.9, 2016.12.14, 2017.2.8, 2017.3.8)</p> <p>2017年度 FD・SD推進委員会7回開催 (2017.4.12, 2017.5.17, 2017.6.14, 2017.7.12, 2017.10.11, 2017.12.13, 2018.2.14)</p> <p>2018年度 FD・SD推進委員会5回開催 (2018.4.11, 2018.6.13, 2018.9.19, 2018.11.28, 2019.2.27)</p> <p>2019年度 FD・SD推進委員会1回開催 (2019.4.24)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>2014年度第1回 (2014.4.23)</p> <p>議題</p> <p>(1) 平成26年度FSD推進委員会の事業方針と運営について (案)</p> <p>(2) 平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)</p> <p>①FD研修会について</p> <p>②SD研修会について</p> <p>③授業公開について</p> <p>④授業評価アンケートについて</p> <p>⑤外部団体に関わるFD活動について (関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業 等)</p> <p>(3) 平成26年度授業評価アンケート項目について (案)</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について</p> <p>2014年度第2回 (2014.5.14)</p> <p>議題</p> <p>(1) 平成26年度外部団体への本学派遣委員の選任について</p> <p>①大学コンソーシアム京都 FDフォーラム担当 委員</p> <p>②大学コンソーシアム京都 FD研修企画 委員</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて</p> <p>①FD研修会について</p> <p>②SD研修会について</p> <p>(2) 平成26年度FSD推進委員会の運営メンバーについて</p> <p>(3) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について</p> <p>(4) 平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について</p> <p>(5) カリキュラム・マップおよびにツリーの策定について</p> <p>(6) 平成25年度人間力測定の結果について</p> <p>(7) 平成25年度カリキュラムマトリクスの集計結果について</p> <p>(8) 春学期の授業公開について</p>

2014年度第3回 (2014. 6. 11)

議題

- (1) 平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について

報告事項

- (1) 平成26年度各学部FD活動および事務職員SD活動方針について
- (2) 春学期授業参観のアンケート調査の集計ならびに意見交換会について
- (3) 春学期授業評価アンケートの実施について
- (4) 平成25年度人間力測定の結果について
- (5) 平成26年度カリキュラムマトリクスの集計結果について
- (6) 平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について
- (7) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第4回 (2014. 7. 9)

議題

- (1) 平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について

報告事項

- (1) 第1回FD研修会の実施報告
- (2) 春学期公開授業の参観アンケートの各学部意見交換会について
- (3) 春学期授業評価アンケートについて
- (4) 学部及び研究科における成績評価基準の設定について
- (5) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第5回 (2014. 10. 8)

議題

- (1) 平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について

報告事項

- (1) 第2・3回FD研修会ならびに第1回SD研修会の実施報告
- (2) 春学期の授業評価アンケートの結果について
- (3) 秋学期の授業公開の実施について
- (4) 秋学期授業評価アンケートの実施について
- (5) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第6回 (2014. 11. 12)

議題

- (1) 平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
- (2) 大学コンソーシアム京都FDフォーラムのポスターセッションの参加について

報告事項

- (1) 授業評価アンケートの実施について
- (2) 第4回FD研修会ならびに第2回SD研修会の実施報告
- (3) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第7回 (2014. 12. 10)

議題

- (1) 平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について

報告事項

- (1) 大学コンソーシアム京都FDフォーラムについて
- (2) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第8回 (2015. 1. 14)

議題

- (1) 平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について

報告事項

- (1) 授業評価アンケートの実施状況について
- (2) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第9回 (2015. 2. 18)

議題

- (1) 平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について

報告事項

- (1) 授業評価アンケートの実施状況について
- (2) ベストティーチャー賞の候補者について
- (3) 2014年度FD・SD推進活動の報告書作成について
- (4) FD研修会、SD研修会の実施報告について
- (5) 大学コンソーシアム京都 FDフォーラムの参加者について
- (6) 各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第10回 (2015. 3. 11)

議題

- (1) 2014年度FD・SD推進活動の報告書(案)について
- (2) 第9回FD研修会(案)について

報告事項

- (1) 平成26年度FSD推進委員会事業について
- (2) ベストティーチャー賞について
- (3) FD研修会の実施報告について
- (4) 大学コンソーシアム京都 FDフォーラムについて

2015年度第1回 (2015. 4. 8)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会の事業方針と運営について (案)
 - (2) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
 - ③授業公開について
 - ④授業評価アンケートについて
 - ⑤人間力測定について
 - ⑥キャリアポートフォリオ (マイステップ) について
 - ⑦カリキュラム・マトリックスについて
 - ⑧外部団体に関わるFD活動について
- (関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業、新人研修等)
- (3) 平成27年度の委員の分担について

報告事項

- (1) 2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2015年度第2回 (2015. 5. 13)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) FD推進委員会事業に関わる全学的取組みについて
- (2) 2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について
- (3) 大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について

その他

- (1) 2015年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について (依頼)

2015年度第3回 (2015. 6. 10)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
- (2) 春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
- (3) 春学期授業評価アンケートの実施について
- (4) 2014年度FD・SD推進活動報告書について
- (5) 大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について
- (6) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

その他

- (1) 学部でのFD活動に関する経費について
- (2) 複数教員担当の授業科目に対する授業評価アンケートの取り扱いについて

2015年度第4回 (2015. 7. 8)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
- (2) 春学期授業評価アンケートの実施状況について
- (3) 大学コンソーシアム京都FD事業担当者からの報告
- (4) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

その他

- (1) IR委員会の実施状況について

2015年度第5回 (2015. 10. 7)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
- (2) 平成27年度秋学期授業公開の実施について
- (3) 平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について

報告事項

- (1) 第1回FD研修会のアンケート集計結果について
- (2) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

その他

- (1) FDフォーラムについて

2015年度第6回 (2015. 11. 4)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
- (2) 平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について
- (3) カリキュラム・マトリックスアンケート調査 (シラバスへの表示方法の改定) について

報告事項

- (1) 平成27年度授業公開後の意見交換会について
- (2) 学生満足度調査の実施について
- (3) 第2回FD研修会のアンケート集計結果について
- (4) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第7回 (2015.12.9)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
- (2) 平成27年度秋学期授業評価アンケートのコメント入力について
- (3) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第8回 (2016.2.10)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について

報告事項

- (1) 平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
- (2) 平成27年度秋学期授業評価アンケートについて
- (3) ベストティーチャー賞の選出について
- (4) 2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
- (5) FD研修会・SD研修会のアンケートについて
- (6) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第9回 (2016.3.9)

議題

- (1) 平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②平成27年度Best Teacher賞の選考について (案)

報告事項

- (1) 2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
- (2) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第1回 (2016.4.13)

議題

- (1) 平成28年度FSD推進委員会の事業方針と運営について (案)
- (2) 平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
 - ③授業公開について
 - ④授業評価アンケートについて
 - ⑤人間力測定について
 - ⑥キャリアポートフォリオ (マイステップ) について
 - ⑦外部団体に関わるFD活動について
- (3) 平成28年度の委員の分担について

報告事項

- (1) 2015年度FSD推進活動の報告書の作成について

2016年度第2回 (2016.5.11)

議題

- (1) 平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 春学期授業評価アンケートの実施について
- (2) 2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
- (3) 2015年度 各事業の実施率について

その他

- (1) 2016年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について (依頼)

2016年度第3回 (2016.6.8)

議題

- (1) 平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
- (2) 春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
- (3) 春学期授業評価アンケートの実施について
- (4) 2015年度FD・SD推進活動報告書について
- (5) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第4回 (2016. 7. 13)

議題

- (1) 平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
- (2) 春学期授業評価アンケートの実施状況について
 - ・未実施リスト
 - ・集計表
 - ・コメントへの対応
- (3) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
 - ・春学期授業公開アンケートの意見交換会について

その他

- ・FD研修会の参加状況について
- ・春学期授業評価アンケート実施要領について

2016年度第5回 (2016. 9. 7)

議題

- (1) 平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
 - ③授業公開について

報告事項

- (1) 春学期授業評価アンケートの実施状況について
 - ・学生からのコメントの対応について
- (2) 授業公開の実施率について
- (3) 第1回FD研修会のアンケート集計結果について
- (4) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第6回 (2016. 10. 12)

議題

- (1) 平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
- (2) 平成28年度秋学期授業公開の実施について
- (3) 授業公開コメント提出方法の変更について
- (4) 秋学期授業評価アンケートの実施および、実施科目について

報告事項

- (1) 第2回FD研修会のアンケート集計結果について【資料4】
- (2) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第7回 (2016. 11. 9)

議題

- (1) 平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成28年度授業公開後の意見交換会について
- (2) 第3回FD研修会のアンケート集計結果について【資料2】
- (3) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第8回 (2016. 12. 14)

議題

- (1) 平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成28年度授業公開後の意見交換会について【資料2】
- (2) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第9回 (2017. 2. 8)

議題

- (1) 平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について

報告事項

- (1) 平成28年度秋学期授業評価アンケートについて
 - ①学生のコメントに対する対応について
 - ②教員のコメント入力について
- (2) ベストティーチャー賞の選出について
- (3) 2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について
- (4) FD研修会、SD研修会のアンケートについて
 - ①第4回FD、第3回SD研修会アンケート
 - ②第5回SD研修会アンケート
- (5) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

その他

- (1) 大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2016年度第10回 (2017. 3. 8)

議題

- (1) 平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①SD研修会について
- (2) 2016年度ベストティチャー賞の選考について (案)
- (3) 授業評価アンケート集計表について (案)
- (4) 大学設置基準の改正に伴う、SD義務化について (案)

報告事項

- (1) 2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について【資料5】
 - (2) 各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
- その他
- (1) 大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2017年度第1回 (2017. 4. 12)

議題

- (1) 2017年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について (案)
- (2) 2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
 - ③授業公開について
 - ④授業評価アンケートについて
 - ⑤外部団体に関わるFD活動について
(関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業 等)
- (3) 平成29年度の委員の分担について

報告事項

- (1) 2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2017年度第2回 (2017. 5. 17)

議題

- (1) 2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
 - ③授業評価アンケートについて

報告事項

- (1) 2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について (依頼)
- (2) 2017年度秋学期のFD・SD推進委員会の開催について

2017年度第3回 (2017. 6. 14)

議題

- (1) 2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
- (2) 事務職員一覧について
- (3) Best Teacher 賞について

報告事項

- (1) 2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について
- (2) 2016年度FD・SD推進活動報告書について
- (3) 授業公開アンケートについて
- (4) 2017年度 FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第4回 (2017. 7. 12)

議題

- (1) 授業公開の各学部意見交換会について
- (2) 授業公開の方針確認について
- (3) 授業評価アンケートについて
- (4) FD・SD推進活動報告書のWeb報告実施について

報告事項

- (1) 2017年度春学期 学生による授業評価アンケートについて
- (2) 2017年度 FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第5回 (2017. 10. 11)

議題

- (1) FD・SD研修会について
 - ①2017年度の今後の予定
 - ②FD研修会のビデオ視聴の取り扱いについて
- (2) FD・SD推進活動報告書ネット掲載原案について
- (3) 授業公開の方針について
- (4) 授業評価アンケートについて

報告事項

- (1) 2017年度 FD・SD研修会のアンケート結果について
- (2) その他

2017年度第6回 (2017. 12. 13)

議題

- (1) FD・SD研修会について
 - ①2017年度の今後の予定
- (2) 授業公開について
- (3) 授業評価アンケートについて

報告事項

- (1) 2017年度 FD・SD研修会のアンケート結果について
- (2) 第23回FDフォーラムの開催について

2017年度第7回 (2018. 2. 14)

議題

- (1) FD・SD研修会について
- (2) 授業公開について
- (3) 授業評価アンケートについて

報告事項

- (1) 2017年度FD・SD推進活動報告書作成スケジュールについて
- (2) 2017年度第7回FD・SD研修会のアンケート結果について
- (3) 次年度について

2018年度第1回 (2018. 4. 11)

議題

- (1) 2018年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について (案)
- (2) 2018年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD研修会について
 - ②SD研修会について
 - ③授業公開について
 - ④授業評価アンケートについて
- (3) 2018年度の委員の分担について

報告事項

- (1) 2017年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2018年度第2回 (2018. 6. 13)

議題

- (1) FD・SD研修会について
- (2) 授業評価アンケートについて
 - ①教員への連絡、学生用チラシの配布、周知方法について
 - ②クロス集計、全体集計について
 - ③ベストティーチャーにかわる顕彰制度とフォロー制度について

報告事項

- (1) 2017年度FD・SD推進活動報告書の作成について
- (2) 2018年度各学部FD活動方針について
- (3) 大学コンソーシアム京都主催の「新任教員FD合同研修プログラム」について

2018年度第3回 (2017. 9. 19)

議題

- (1) 私立大学等改革総合支援事業について
- (2) FD・SD研修会について
- (3) 授業評価アンケートについて
- (4) 教員英語力向上ニーズアンケート (案) 実施に向けて

報告事項

- (1) 大学コンソーシアム京都主催「FD合同研修プログラム【基礎編】」について

2018年度第4回 (2017. 11. 28)

議題

- (1) FD・SD研修会について
- (2) ベストティーチャー賞に代わる「学生アンケートによる授業評価賞」について
- (3) 今後の授業公開について
- (4) 2018年度FD・SD推進活動報告書のWeb化実施に向けて
- (5) 人事考課について

2018年度第5回 (2019. 2. 27)

議題

- (1) FD・SD研修会について
- (2)) 授業評価アンケートについて

報告事項

- (1) 2018年度FD・SD推進活動報告書作成のスケジュールについて
- (2) 2018年度第8回FD・SD研修会のアンケート結果について
- (3) 次年度について

2019年度第1回 (2019. 4. 24)

議題

- (1) 2019年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について (案)
- (2) 2019年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて (案)
 - ①FD・SD研修会について
 - ②授業公開について
 - ③授業評価アンケートについて
- (3) 2019年度の委員の分担について
- (4) 委員会開催日程について
- (5) 学習成果の評価について

② 実施状況

a 実施内容

2014年度

- ・ 全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など
- ・ SD研修会・・・各部署の現状・課題、情報の発信と共有、事務体制整備に向けた課題、教職協働の教育改善など
- ・ 授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
- ・ 授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2015年度

- ・ 全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など
- ・ SD研修会・・・副担任制度の現状と課題・学生支援のあり方についてなど
- ・ 授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
- ・ 授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2016年度

- ・ 全学FD研修会・・・授業方法、メンタルヘルスケア、ハラスメント対策、ポリシー策定など
- ・ SD研修会・・・グローバル化に求められる人材、奨学金など
- ・ 授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
- ・ 授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2017年度

- ・ 全学FD研修会・・・科研費の管理運営、大学入試改革、授業の事例報告、カリキュラムツリー作成など
- ・ SD研修会・・・障害のある学生支援、ハラスメント対策など
- ・ 授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
- ・ 授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2018年度

- ・ 全学FD研修会・・・科研費の管理運営、スタートアップゼミ担当研修、ルーブリック作成ワークショップなど
- ・ SD研修会・・・障害のある学生支援、学生対応対策など
- ・ 学生アンケートによる授業評価賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2019年度

- ・ 全学FD研修会・・・科研費の管理運営、授業づくりワークショップ、教務システム利用勉強会など
- ・ SD研修会・・・障害のある学生支援、マナー対策など
- ・ 授業公開・・・前年度に授業評価賞を受賞した教員が授業公開
- ・ 授業公開意見交換会・・・授業公開直後に、公開された授業に対する意見交換を実施
- ・ 学生アンケートによる授業評価賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

b 実施方法

2014年度

- ・ 全学FD研修会・・・年9回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
- ・ SD研修会・・・年4回実施
- ・ 授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
- ・ 授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2015年度

- ・ 全学FD研修会・・・年6回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
- ・ SD研修会・・・年1回実施
- ・ 授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
- ・ 授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2016年度

- ・ 全学FD研修会・・・年7回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
- ・ SD研修会・・・年6回実施（うち4回は全学FD研修会と共催）
- ・ 授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
- ・ 授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2017年度

- ・ 全学FD研修会・・・年8回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
- ・ SD研修会・・・年8回実施（うち5回は全学FD研修会と共催）
- ・ 授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
- ・ 授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
- ・ Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2018年度

- ・ 全学FD研修会・・・年9回実施（授業担当者等にはビデオ研修による追加参加申請が可能にしている）
- ・ SD研修会・・・年8回実施（うち8回は全学FD研修会と共催）
- ・ 学生アンケートによる授業評価賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2019年度

- ・ 全学FD研修会・・・年14回実施（授業担当者等にはビデオ研修による追加参加申請が可能にしている）
- ・ SD研修会・・・年9回実施（うち9回は全学FD研修会と共催）
- ・ 授業公開・・・前年度授業評価賞受賞者の授業を参観し、参観後に意見交換会を実施
- ・ 授業公開意見交換会・・・授業公開直後に全学FD研修会として実施
- ・ 学生アンケートによる授業評価賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

c 開催状況（教員の参加状況含む）

2014年度

- ・ 全学FD研修会・・・2014. 6. 18（60名）、7. 16（73名）、9. 17（73名）、10. 15（38名）、12. 17（41名）、
2015. 1. 28（61名）、2. 18（58名）、2. 25（35名）、3. 20（41名）
- ・ SD研修会・・・2014. 8. 5（38名）、10. 17（55名）、12. 25（54名）、2015. 2. 12（44名）
- ・ 授業公開・・・（春学期）2014. 5. 26～5. 31実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2014. 11. 5～11. 11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
- ・ 授業公開意見交換会・・・経済学部（2014. 7. 24、11. 19）、経営学部（2014. 6. 18、11. 19）、
法学部（2014. 6. 18、11. 19）、人間文化学部（2014. 6. 18、11. 26）、
バイオ環境学部（2014. 6. 18、11. 19）
- ・ Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2015. 3. 14）

2015年度

- ・ 全学FD研修会・・・2015. 6. 17 (64名)、9. 16 (83名)、12. 16 (48名)、
2016. 1. 20 (43名)、2. 17 (58名)、3. 16 (61名)
- ・ SD研修会・・・2015. 12. 22 (82名)
- ・ 授業公開・・・(春学期) 2015. 5. 25～5. 30実施(ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業)
(秋学期) 2015. 11. 5～11. 11実施(ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業)
- ・ 授業公開意見交換会・・・経済経営学部(2015. 7. 15、12. 16)、健康医療学部(2015. 6. 24、11. 25)、
人文学部(2015. 6. 17、7. 15、12. 16)、バイオ環境学部(2015. 6. 17、12. 16)、
- ・ Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施(2016. 3. 12)

2016年度

- ・ 全学FD研修会・・・2016. 7. 20 (105名)、9. 21 (83名)、10. 19/11. 16 (85名)、
2017. 1. 18/25 (82名)、1. 20 (45名)、2. 9/15 (67名)、2. 10 (20名)
- ・ SD研修会・・・2016. 8. 8 (32名)、10. 19/11. 16 (19名)、
2017. 1. 18/25 (68名)、2. 9/15 (53名)、2. 10 (12名)、3. 22/23 (36名)
- ・ 授業公開・・・(春学期) 2016. 5. 27～6. 9実施(ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業)
(秋学期) 2016. 10. 31～11. 12実施(ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業)
- ・ 授業公開意見交換会・・・経済経営学部(2016. 6. 27、11. 24)、
健康医療学部(2016. 6. 22、9. 1、11. 30、12. 22)、
人文学部(2016. 6. 15、11. 16)、バイオ環境学部(2016. 7. 20、11. 23)、
- ・ Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施(2017. 3. 11)

2017年度

- ・ 全学FD研修会・・・2017. 4. 19/26 (80名)、5. 24 (77名)、6. 21 (65名)、9. 27 (31名)
2017. 9. 29 (25名)、11. 22 (26名)、2018. 2. 7 (44名)、2. 21/28 (75名)
- ・ SD研修会・・・2017. 4. 19/26 (16名)、4. 25 (18名)、5. 23/31 (70名)、5/24 (13名)、
2017. 9. 27 (6名)、2018. 1. 26 (55名)、2. 7 (22名)、2. 21/28 (21名)
- ・ 授業公開・・・(春学期) 2017. 5. 26～6. 9実施(ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業)
(秋学期) 2017. 10. 30～11. 11実施(ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業)
- ・ 授業公開意見交換会・・・経済経営学部(2017. 6. 21、11. 15)、
健康医療学部(2017. 6. 28、7. 11、7. 26)、
人文学部(2017. 6. 21、11. 22)、バイオ環境学部(2017. 6. 21、11. 22)、
- ・ Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施(2018. 3. 10)

2018年度

- ・ 全学FD研修会・・・2018. 4. 18/25 (74名)、7. 18 (25名)、8. 1/8 (21名)、9. 12/13 (71名)、11. 29 (17名)
2018. 12. 20/25 (111名)、12/25 (39名)、2019. 1. 23 (44名)、2. 27/3. 7 (82名)
- ・ SD研修会・・・2018. 4. 18/25 (12名)、7. 18 (9名)、8. 1/8 (19名)、11. 29 (10名)
2018. 12. 20/25 (70名)、12. 25 (5名)、2019. 1. 23 (4名)、2. 27/3. 7 (3名)
- ・ 学生アンケートによる授業評価賞・・・学長室で表彰を実施(2019. 3. 10)

2019年度

- ・ 全学FD研修会・・・2019. 4. 17/24 (82名)、7. 5 (8名)、7. 10 (6名)、9. 2-3 (12名)
2019. 9. 26 (23名)、10. 30 (17名)、11. 6 (6名)、11. 12 (89名)
2019. 11. 22 (2名)、12. 9 (1名)、12. 20 (19名)、12. 23 (23名)、2020. 2. 7 (24名)
- ・ SD研修会・・・2019. 4. 17/24 (18名)、7. 5 (14名)、9. 21 (1名)、9. 26 (11名)、
2019. 10. 30 (48名)、11. 12 (11名)、11. 22 (3名)、12. 9 (1名) 2020. 2. 7 (12名)
- ・ 授業公開・・・(秋学期) 2019. 9. 21、11. 6、11. 22、12. 9実施(授業評価賞受賞者の授業)
- ・ 授業公開意見交換会・・・2019. 9. 21、11. 6、11. 22、12. 9の全学FD研修会
- ・ 学生アンケートによる授業評価賞・・・各受賞者に表彰を実施(2020年3月以降、COVID-19影響により変更)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学FD・SD推進委員会で検討された内容は、各学部のFD委員会において更に検討されている。
授業公開は、2013年度秋学期からは全科目(ゼミ、体育実技、実験・実習を除く)で実施している。
授業参観後のアンケートをもとに、学部FD研修会等で科目担当者と参観者が活発に意見交換し、
授業改善を図っている。
2018年度はさらに効果的な授業公開となるように見直し、2019年度から授業評価賞受賞者による
授業公開を実施して授業改善を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートの実施：有

実施時期：春学期・秋学期(各1回)

2014年度

- ・ 授業評価アンケート・・・2014. 6. 23～7. 5、2014. 12. 1～12. 13
(ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施)

2015年度

- ・ 授業評価アンケート・・・2015. 6. 11～6. 24、2015. 11. 25～12. 8
(ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施)

2016年度

- ・ 授業評価アンケート・・・2016. 6. 17～6. 30、2016. 11. 28～12. 10
(ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施)

2017年度

- ・ 授業評価アンケート・・・2017. 6. 17～6. 30、2017. 11. 27～12. 9
(ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施)

2018年度

- ・ 授業評価アンケート・・・通常期間2018. 7. 14～7. 27、2018. 12. 24～2019. 1. 21
(ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施)

2019年度

- ・ 授業評価アンケート・・・通常期間2019. 7. 15～7. 28、2019. 12. 19～2020. 1. 23
(ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施)

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果については、各科目担当の教員へフィードバックされる。担当教員は、受講生の評価・コメント（自由記述欄）に対して「先端なび」を通して回答を行う。科目分野、学部別の評価の集計結果をホームページで公表するとともに、個別結果については、教育修学支援センターで閲覧できるようにしている。2016年度秋学期からは、教員が「先端なび（旧京学なび）」に掲載した回答内容も閲覧できるようにしている。アンケートに寄せられた自由記述は、学部FD推進委員及び学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。アンケート結果で著しく評価の低い授業については、学部FD推進委員会委員および学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。授業評価賞（旧Best Teacher賞）は、学生による授業評価アンケート結果で高評価を得た授業の科目担当者を学部FD推進委員会が学部長の意見を参考の上選出し、全学FD・SD推進委員会で決定後、学長が表彰するとともに、ホームページで公表する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学研究科 機械電気システム工学専攻 博士課程前期・博士課程後期は、機械分野と電気分野に跨る学際的な工学分野の専門的知識・学術・教養を兼ね備え、グローバル社会への関心と、次世代の電気機械システムに必須の専門領域の高度な知識を修得し、さらに深化させることによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる技術者・研究者を育成することを目的としている。設置初年度の現段階では、博士課程前期では専門科目の基幹科目の講義と、1年次の特別演習、特別研究での指導が行われている。博士課程後期では材料、エネルギー、情報、システムの専門科目と1年次の特別演習、特別研究で指導が行われている。実際の授業方法については、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、政府の緊急事態宣言後は大学全体として「感染防止のため当面は教室での授業は行わない」旨の決定を行っており、感染が終息し、教室での対面授業が可能となるまでは、学生ポータルサイトを介した課題提示による自宅学修及びオンライン授業によって学修を進めている。以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和3年7月1日 公表

b 公表方法

- ・ 自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成26年度に（公財）日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成27年3月に適合の評価結果を得た。このため、令和3年度までに（公財）日本高等教育評価機構の認証評価を受けるべく、学内で検討を進めている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和2年 7月 1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。